

国境離島における入島税の 支払意志

－小笠原村を事例として－

東京農業大学 国際食料情報学部

田中裕人・上岡美保

はじめに

- 国境離島は、国境確定や排他的経済水域確定等の役割があるために重要。
 - 人が住んでいない離島は、他国から干渉される可能性。
- 国境離島は一般に条件不利地域が多い。
- 国も支援をしているが、財源が足りない場合も多い。
- 国境離島にとっては自主財源が多い方が望ましい。
- そのための方法として、入島税が考えられる。
 - 沖縄県の4離島と宮島で導入。
- 仮に、国境離島において入島税を導入した場合の支払意志額を推定することは意義がある。

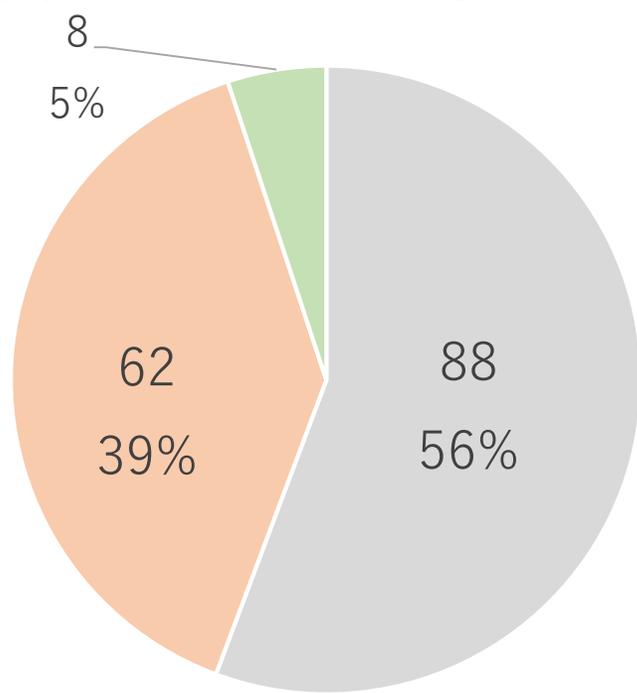
小笠原村の概要

- 小笠原諸島は、東京から南約1,000kmに散在する多くの島々の総称。
- 小笠原諸島だけで全国の排他的経済水域(EEZ)の約3割が確保。
- 小笠原諸島の有人離島は、父島と母島。
- 父島までのアクセス方法は、現時点ではフェリーのみ。
 - フェリーは、8月以外は6日で1往復、片道で24時間。
- 2011年、世界自然遺産に登録。

調査方法

- 調査は2024年6月に実施。
- 調査対象者は父島に居住する全世帯。
- 依頼文の発送については、タウンプラスを利用。
- 調査はGoogle Formsを利用して実施。
- 依頼文には、回答用ページにアクセスできるQRコードを読み取るように記述し、インターネットを利用して調査票を読み取って回答を頂いた。
- 調査対象は父島の全世帯である1218世帯、回答数は158。
 - 回収率は13.0%。

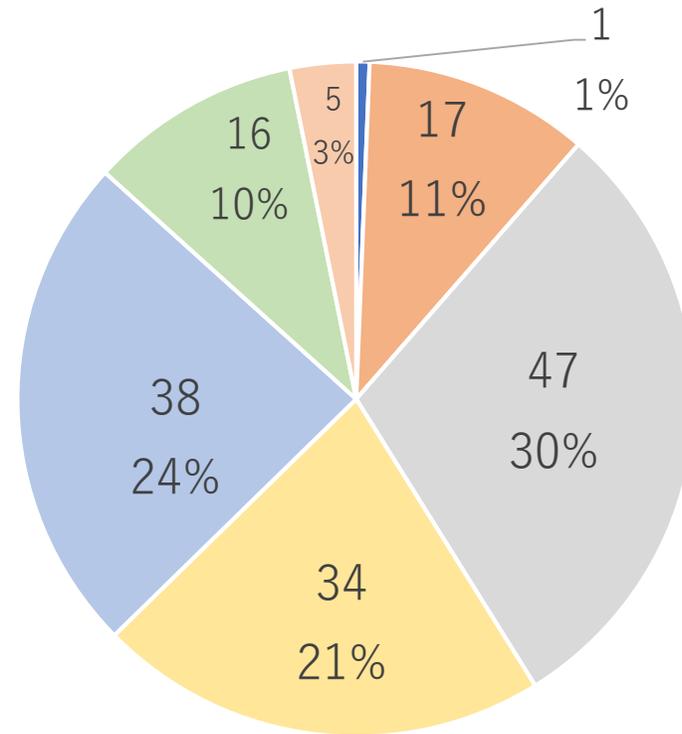
回答者の属性



■ 男性 ■ 女性 ■ 回答したくない

図1 性別

男性がやや上回っている。



■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代

図2 年齢

30～59歳の回答者が75.3%

通算居住年数

項目	回答数	回答率(%)
1～2年目	33	20.9
3～5年目	17	10.8
6～10年目	24	15.2
11～20年目	30	19.0
21～30年目	31	19.6
31年目以上	23	14.6
合計	158	100.0

小笠原村の通算居住年数の結果。

- 5年目以内が31.7%。
- 11年目以上が53.2%。

普段実施している活動・体験

項目	回答数	回答率(%)
シュノーケリング	97	61.4
海水浴	82	51.9
ハイキング	66	41.8
釣り	59	37.3
運動系サークル活動	49	31.0
ドルフィンスイム	46	29.1
くじら・ドルフィンウォッチング	45	28.5
ダイビング	34	21.5
シーカヤック	19	12.0
サーフィン	19	12.0
文科系サークル活動	14	8.9
特に行っていない	14	8.9
その他	8	5.1
サンプルサイズ	158	

- 全般的に、回答率が高い。
- 特に、「シュノーケリング」(61.7%)、「海水浴」(51.9%)、「ハイキング」(41.8%)、「釣り」(37.3%)、「運動系サークル活動」(31.0%)、が高い。
- 普段の体験・活動としては、海洋アクティビティに関することだけが多いとは限らない。

小笠原村の入島税導入に関する賛否

項目	回答数	回答率(%)
強く賛成する	29	18.4
賛成する	39	24.7
どちらともいえない	56	35.4
反対する	25	15.8
強く反対する	9	5.7
合計	158	100.0

- 賛成は43.0%、反対は21.5%。
- 入島税が導入されれば、環境保全や環境整備等に対する支出額が増加することが期待。
- 一方で、住民の自己負担が発生。訪問者にとっても負担。
 - 結果として、訪問者の効用が下がり、訪問者数が少なくなる可能性。

入島税の支払意志額のシナリオ（全員）

- 「仮に、父島への入島の際に入島税を導入するとします。その対象は、観光客だけではなく、住民も含めるとします。父島への訪問について、最大でいくらならば入島税を支払ってもよいと思いますか。」

入島税の支払意志額（全員）

項目	回答数	回答率(%)
100円	9	5.7
300円	17	10.8
500円	31	19.6
1,000円	35	22.2
3,000円	3	1.9
5,000円	1	0.6
10,000円	2	1.3
30,000円以上	0	0.0
支払いたくない	60	38.0
合計	158	100.0

- CVMはペイメントカード形式で実施。
- 「支払いたくない」が38.0%。
- 100～1,000円が58.2%。

入島税の支払意志額の推定（全員）

	係数	t値	p値
定数項	3.623	4.902	0.000
島民同士の交流	0.449	2.392	0.017
定住者増加に反対	-0.946	-2.007	0.045
空港建設に反対	1.148	3.715	0.000
建設業	1.173	2.189	0.029
公務員・教育関連	0.790	2.283	0.022
未就学児がいる	0.716	1.797	0.072
シーカヤック	-1.391	-2.739	0.006
海水浴	-0.771	-2.460	0.014
σ	1.680	12.384	0.000
対数尤度			
AIC			

- グループデータ回帰で推定。
 - ペイメントカード形式の場合には、支払意志額が区間データとみなされるため。
- 変数選択の基準は10%水準。
- WTPの平均値は961.4円。
- WTPの中央値は234.3円。

入島税の支払意志額のシナリオ（訪問者のみ）

- 「仮に、父島への入島の際に入島税を導入するとします。今回は、対象者を観光客のみとします。父島への訪問について、最大でいくらならば入島税を許容できると思いますか。」
- このシナリオから推定される支払意志額を「**他人の支払意志額**」とする。
 - 「他人のWTP」と表現した桜井(2016)を参考にした。

入島税の支払意志額（訪問者のみ）

項目	回答数	回答率(%)
100円	5	3.2
300円	6	3.8
500円	28	17.7
1,000円	61	38.6
3,000円	23	14.6
5,000円	9	5.7
10,000円	4	2.5
30,000円以上	2	1.3
支払う必要はない	20	12.7
合計	158	100.0

- 「全員の支払意志額」と比較して、「**他人の支払意志額**」は全般的に**高くなる**傾向。
- 「支払う必要はない」 38.0%→12.7%
- 「300円」 10.8%→3.8%
- 「1,000円」 22.2%→38.6%
- 「3,000円」 1.9%→14.6%
- 「5,000円」 0.6%→5.7%
- 「30,000円以上」 0%→1.3%

入島税の支払意志額の推定（訪問者のみ）

	係数	t値	p値
定数項	8.058	13.943	0.000
小笠原村出身	-1.305	-2.725	0.006
就職先の見つけやすさ	-0.485	-3.879	0.000
買い物の便利さ	0.376	2.927	0.003
観光客の多さ	-0.479	-3.354	0.001
島民の気質	0.322	2.498	0.013
小売業	-1.204	-2.473	0.013
一戸建て	0.820	2.843	0.005
σ	1.323	15.496	0.000
対数尤度			
AIC			

- グループデータ回帰で推定。
- 変数選択の基準は10%水準。
- WTPの平均値は2,666.8円。
- WTPの中央値は1,100.9円。

移動費用における入島税の割合（他島）

	往復運賃	入島税割合
伊是名島	3,500	2.8%
伊平屋島	4,720	2.1%
座間味島(高速船)	6,080	1.6%
座間味島(フェリー)	4,090	2.4%
渡嘉敷島(高速船)	4,810	2.0%
渡嘉敷島(フェリー)	3,210	3.0%
宮島	400	20.0%

- 「**入島税割合**」 =
$$\frac{\text{(入島税額)}}{\text{(往復運賃)} + \text{(入島税額)}}$$
- 入島税は全て100円。
- 沖縄県の離島における入島税割合は、1.6～3.0%。
- 宮島は往復料金が安いいため、負担感が大きい。

船舶代金における入島税の割合（小笠原村）

	往復運賃	入島税割合
2等和室(観光客)	66,780	1.4%
2等和室(住民)	46,746	2.0%
特2等寝台(観光客)	100,940	0.9%
特2等寝台(住民)	70,658	1.3%
1等室	139,800	0.7%
特等室	199,000	0.5%

- 往復運賃は2024年8月時点。
 - 表の「往復運賃」に入島税は含まれていない。
- 入島税を**全員が支払う**場合。
- 入島税を**961円**として算出。
- 住民については、特2等寝台までは**住民割引**が適用されて**3割引**。
- 住民割引適用後で2等和室の場合の入島税割合は2.0%。
- 最も高い特等室は0.5%。

船舶代金における入島税の割合（小笠原村）

	往復運賃	入島税割合
2等和室	66,780	3.8%
特2等寝台	100,940	2.6%
1等室	139,800	1.9%
特等室	199,000	1.3%

- 入島税を**訪問者のみが支払う**場合。
- 入島税を**2,666円**として算出。
- 2等和室の入島税割合は3.8%。
- 最も高い特等室は1.3%。
- 他の離島と比較しても、大きな差は見られない。

→大きな負担感にはならないと考えられる。

入島税の使途として望ましいこと

項目	回答数	回答率(%)
環境美化・清掃活動	99	62.7
生態系・生物多様性の保全	83	52.5
トイレスペースなどの整備	63	39.9
医療体制の整備	51	32.3
無料Wi-Fiの整備	46	29.1
生活環境の整備	39	24.7
防災設備の整備	38	24.1
バスの増便	20	12.7
道路の整備	14	8.9
その他	18	11.4
サンプルサイズ	158	

- 「環境美化・清掃活動」が最も高い。
 - 沖縄の4離島では、入島税(環境協力税)の徴収目的がこの項目。
- 次いで「生態系・生物多様性の保全」。
 - 世界自然遺産に登録されている小笠原村の特徴が出ている。
- 「トイレスペース」「医療体制の整備」等も回答率が高い。
 - 「医療体制の整備」については、地元住民だけでなく、訪問者が病気や怪我になった場合にも対応しやすくなる。

考察

- 入島税の対象者を**30,000人**とする。
 - 過去の入込客数（フェリーの乗船人数から推定）の推移から設定。
- **全員**が入島税を支払う場合の**総WTPは2883万円**。
 - 厳密には、小中学生・障害者は非対象の可能性。
- **訪問者のみ**を対象とした他人の**総WTPは8001万円**。
 - 小笠原村民を含めないならば30,000人未満となるが、入込客数に対する住民の割合が分からないので、30,000人と仮定して算出。
- 国境離島としては大きな収入源。
- R5の清掃費は4億2335万円。全員を対象とした場合は6.1%、訪問者のみを対象とした場合は18.9%がまかなえることになる。
- 宮島のように、入島税が法定外普通税ならば、入島税の用途は制限されない。
- 今後の課題は、訪問者に対して入島税の支払意志額の調査を実施すること。